

# 指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	老人福祉センター 倉敷市まきび荘
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180 名称 社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 藤澤 徳久
(3) 公の施設の所管部署	健康福祉部健康長寿課
(4) 評価対象期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

## 2 総合評価結果

(1) 市の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年2月9日に実施した立入監査の結果、良好な管理運営がなされていることが確認できた。</li> <li>・令和6年3月に実施したアンケート調査の結果、現行の指定管理者は、利用者から好感を持って受け入れられていることが確認できた。</li> <li>・今年度重視して評価を行った「安全管理（危機箇所の把握と対策）」については、施設の日常点検や消防設備点検、建築物定期点検等による危険箇所の把握と修繕等による早期改善に努めており評価できる。</li> <li>・以上の点から、評価対象期間において、社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団は適切に指定管理業務を遂行したと判断する。</li> </ul>	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<p>まきび荘では、地域の高齢者に対し各種の相談に応じるとともに、学ぶ意欲に応じた様々な講座を開講し、併せて創作を楽しむ場を提供しました。</p> <p>各種相談等事業では、心身の健康の維持促進や疾病の予防、コロナ後も続く不安感や感染対策等について看護師から指導・助言を行いました。</p> <p>いきいき講座では「百歳体操」や「さわやか体操」に加え、本年度新たに「転倒予防教室」を年12回実施し、健康に関心</p>	

	<p>の高い地域の高齢者のニーズに応えました。</p> <p>レクリエーション事業では、七夕会・クリスマス会等など四季を楽しむ事業を実施し、仲間と交流する機会をつくりました。不定期で実施している手芸等ふれあい会では、手作りを楽しむ場を提供することで社会参加や生きがいづくりの一助としました。また3館交流事業として、倉敷北高齢者福祉センター・有城荘とグラウンドゴルフ大会やビリヤード大会を共催し、相互の利用者の交流の場としました。</p> <p>また、老人クラブとの剪定作業や地元組織みその会との交流を通じて、地域に根差した施設となるよう努めました。</p> <p>コロナ禍から続く利用控えの傾向の中、講座や事業の実施回数を増やすなど利用者増に向けて取り組んだ結果、延べ利用者数は前年と比べ105.2%と増加しました。</p> <p>今後も、地域の高齢者が明るく生きがいをもった生活が送れるよう、ニーズに沿った事業やサービスの充実に努めてまいります。</p>
(3) アンケート結果の概要	<p>アンケート調査の結果、利用者の満足度は、施設全体は94.8%、職員対応は98.0%、施設の衛生管理は95.9%、安全対策は94.9%となった。よって、現在の指定管理者は、多くの利用者から好感を持って受け入れられていることが分かった。</p>

### 3 施設の利用状況

(1) 利用者数	利用者数			特記事項
	今年度	前年度		
	5,748人	5,463人		
(2) 事業の内容	<p>(1) センターの使用許可に関する事務</p> <p>(2) センターの維持管理に関する業務</p> <p>(3) 高齢者の生活、住宅、身上等に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(4) 高齢者の疾病の予防、治療に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(5) 高齢者の生業および就労等の指導業務</p> <p>(6) 高齢者の後退機能の回復訓練ならびに指導業務</p> <p>(7) 高齢者の教養の向上およびレクリエーション等の事業</p> <p>(8) センターの利用者の利便性を向上させるために必要な業務</p>			

### 4 収支（見込み）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	18,270千円	
	市からの指定管理料	18,260千円	
	その他の収入	10千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	19,292千円	
	主な支出	人件費	12,305千円
		光熱水費	2,092千円
		修繕料	123千円
		業務委託費	543千円
		その他	4,229千円